

新しい「すい臓がん」検査

アポリポ蛋白A2

APOA2

アポエーター

新規
オプション
検査

1. すい臓がんの現状とリスクデータ

すい臓がんの罹患率(新たに診断されること)を年齢別にみると60歳ごろから増加し、高齢になると高くなる傾向となっています。わが国では年間約4万人の方がすい臓がんで亡くなっています。一方、**早期ステージで発見されるほど5年生存率は高くなります。**

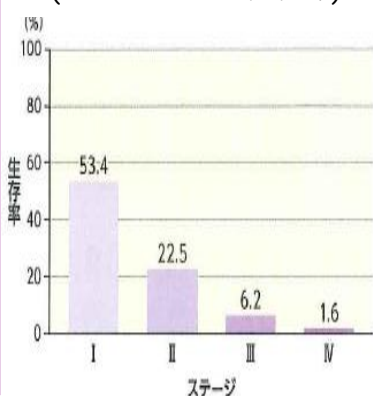


5年相対生存率

5大がんとの比較
(2009-2011年診断)

すい臓	8.5%
肺	34.9%
胃	66.6%
大腸	71.4%
肝および肝内胆管	35.8%
乳房(女性のみ)	92.3%

すい臓がんステージ別
(2014-2015年集計)







出典: 国立がん研究センターがん情報サービス がん登録・統計 一部抜粋

全国がん罹患モニタリング集計2009-2011年生存率報告(国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター, 2020)
独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成22年度報告書を基に作成

2. APOA2(アポリポ蛋白A2)アイソフォーム検査とは

血液中にあるAPOA2というたんぱく質には主に3つのタイプ(アイソフォーム)があり、健康な人はそのバランスが一定に保たれています。すい臓がんになるとこのバランスが崩れてくるため、「APOA2-i Index」という指標を用いて判定を行います。

3. リスク要因セルフチェック

-  ご家族に膵臓がんになった方がいる
-  生活習慣病(糖尿病・肥満)がある
-  すい臓の異常を指摘されたことがある
-  喫煙・飲酒習慣がある

4. 検査金額

■APOA2+CA19-9

8,800円(税込)

■腫瘍マーカー3種

(AFP・CEA・CA19-9)に追加

+6,600円(税込)



一般財団法人 ライフ・プランニング・センター

聖路加国際病院連携施設

日野原記念クリニック

